

放課後等ディサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6 年 5 月 1

公表:令和 6 年 5 月 20 日

事業所名 キッズサポート

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		適切です。	・継続していきます。
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		適切です。	・継続していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		適切です。	・更なる安全面の強化を行わせていただきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		毎日朝礼、終礼を実施し、その都度改善を実施しています。	・継続していきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		毎年実施しています。	・保護者等の意向等を把握し、業務改善に取り組んでいきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		毎年実施し、ホームページ及び名古屋市子ども発達支援サイト「すてっぷサポート」にて公開致します。	・継続していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		・導入に向けて調整中です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		各種研修に参加しています。また、グループ店舗と合同で月一回の勉強会を行っています。	・継続していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		モニタリングと支援会議を行い作成しています。	・継続していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		アセスメントシートを用いて状況を把握しています。	・継続していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		職員から案を出し合って、議論して決定しています。	・継続していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		季節行事や流行りの内容を取り入れて計画を行っています。	・継続していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		一日の流れを話合っている。曜日、日ごとの活動と目標を設定し、予定表や施設内掲示にて明確化しています。	・継続していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等ディサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		子どもの特性や状況を考慮して、個別活動と集団活動を組み合わせています。	・継続していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		毎日、朝礼でその日の活動内容を確認し、子どもの情報を共有しています。	・打合せ時間をより充実したものとしていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		毎日、終礼で支援の振り返りを行い、記録を残しています。	・継続していきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		毎日、終礼で支援の振り返りを行い、記録を残しています。その際、一人ひとりの様子を確認しています。	・継続していきます。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>			・継続していきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	<input type="radio"/>		行っています。	・継続していきます。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	児童発達支援管理責任者が参加するようにしています。	・継続していきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	必要に応じて学校と予定表の交換を行っています。お迎え時に児童の様子を共有。留意点がある場合は、随時連絡を取り合っています。	・継続していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	医療的ケアが必要な子どもの利用はありません。	・今後利用があった場合に備えて情報を集めています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	相談支援員を通じて行っています。	・必要に応じて行います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		・必要に応じて行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・継続していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	必要に応じて行っています。	・障害のない子どもとの活動は行っていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		・積極的に参加していきたいと考えています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	連絡帳や毎日の送迎時にお伝えしています。必要に応じて電話等でも連絡を取っています。	・継続していきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレンツ・トレーニング等の支援を行っている	○	プログラムとしては行っていませんが、個別の相談に応じさせていただいている。	・検討いたします。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に説明しています。	・継続していきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	相談があった場合には速やかに対応し、職員間で情報共有をしています。	・継続していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・現状に適した開催方法を検討したいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	速やかに対応させていただいております。	・継続していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	SNS(Facebook、Instagram、LINEタイムライン、twitter)において、活動の様子を週2回発信しています。	・より多くの方に見ていただけるように周知します。
	35	個人情報に十分注意している	○	全職員が秘密情報の保持について誓約書を書いています。	・定期的に個人情報の取り扱いについて職員間で確認します。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	構造化や、情報の図示などをしています。	・配慮事項を職員間で共有し、連絡ミスがないようにいたします。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・どのような形で行えるか、今後検討いたします。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	定期的に見直し、訓練も実施しています。	・定期的に保護者にマニュアルについて周知するようにいたします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	毎月防災の日を設定し、防災についての学習・防災食の調理・緊急時を想定した訓練などに取り組んでいます。	・毎月、防災の取組みを行う日を設定しています。 訓練を行うことを目標として改善してまいります。 また、危険箇所がないかの安全確認を定期的に行います。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	虐待になる行為について職員間で共有しています。	・定期的に研修を行い、意識の向上を図ります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	身体拘束について 職員間で共有しています。現在該当する 職員・利用者はいません。	・必要に応じて保護者への事前説明をしっかり行い、支援計画に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	保護者からアレルギーの情報を得ています。その際、医師からどのように言わわれているかも確認しています。	・必要があれば医師の指示書をいただくようにします。 ・職員間の情報共有をより進めています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・継続していきます。